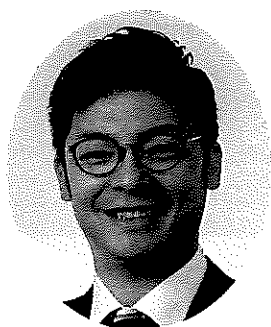


北海道PTA連合会

220号



会 報

札幌市中央区北1条西3丁目 S T V時計台通ビル6階/TEL(011)251-6937 FAX(011)210-0929 <http://www.hokkaido-pta.jp>

「こんな時代だからこそ、
PTAは必要です。」

北海道PTA連合会

会長 後藤 一 樹

私は令和6年度北海道PTA連合会会長を務めます後藤一樹と申します。道内各地PTA会員の皆様、そして教育関係諸団体の皆様におかれましては、日頃より北海道PTA連合会の活動に対しましてご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、昨年度を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染症分類が5類に移行され、全道のPTA活動も制限なく行うことが出来るようになりました。会話を楽しみながら笑顔で行うPTA活動に、今まで感じたことのない喜びや楽しさを再認識したところでした。北海道PTA連合会としましても、年度当初に計画した事業計画を滞ることなく進めることが出来ました。これも皆様の温かいご支援とご協力のお陰と、改めて感謝申し上げます。しかし、PTAにとって活動を制限されたこの3年余りの期間は、とても大きな爪痕を残しました。保護者と学校のコミュニケーションを取る機会が圧倒的に少なくなってしまったことや、PTA活動自体がストップしてしまったことなど問題は多岐にわたります。その結果、活動を再開しようにも保護者と学校や保護者同士のコミュニケーションが不足しているために、PTA活動を前に進めようにも、進められない状況が多々ありました。北海道PTA連合会が開催した諸々の会議の中でも全道各地の会員から寄せられる声を聞く機会がありましたが、どのご意見も切実であり、現状を何とかしたいという気持ちが伝わりとても貴重なものでした。いただいた声はネガティブなものばかりではなく、コロナをきっかけに旧態依然の組織を見直し、より子どもたちに寄り添ったPTA活動へとカタチを変えることに成功した事例もあります。これからのPTAにも明るい兆しがあると予感させていただきました。

PTAは今岐路に立たされています。残念なことに「PTA不要論」という言葉も多く耳にするようになりました。「PTAは何のためにあるのか」とてもシンプルではありますが、つい忘れがちなことでもあります。これは言わずもがな「子どもたちのため」の組織です。PTAの主語が「子ども」から「自分自身」に変わった瞬間に「PTAは不要」となってしまうのだと思います。何事もそうですが、迷ったり悩んだりしたときは、基本に立ち返って考えることが必要です。まずは愛するわが子のために、そして周りの友だちのために、大人が子どもたちを全力で応援すること。保護者と先生が互いに良好な関係を築くことは、子どもたちにとってマイナスな要素は一つもありません。今の世の中は変化が激しく、先行きの見え難い時代です。こんな時代だからこそPTAが必要であり、その存在意義を皆で再確認し、子どもたちの健やかな成長を支えていかなければなりません。

結びとなりますが、子どもは傍にいる大人の姿に強く影響を受けて育つといわれています。そうであれば、保護者と先生が共に笑顔で過ごすこと、それは自ずと子どもたちの笑顔に繋がります。令和6年度北海道PTA連合会は、全道の会員の皆様、そして各関係諸団体の皆様と共に手を携え、北海道の子どもたちが笑顔で毎日を過ごせるよう、全力を尽くしてまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げご挨拶と代えさせていただきます。

令和6年度の北海道PTA連合会の活動がスタート!

6月8日(土)、全道各地区の理事・代議員の出席のもと、安全互助会総会、理事会と道P連総会が開催され、令和6年度の北海道PTA連合会(道P連)の活動がスタートしました。

理事会に先立ち、北海道PTA安全互助会総会が開催され、東京海上日動札幌支店金融公務課吉川尚輝様よりご挨拶をいただいたのち、令和5年度の事業報告、決算報告、監査報告、令和6年度の事業計画案、会計予算案について審議が行われ提案通り承認されました。

総会ではご来賓として、北海道教育委員会教育長 中島俊明様よりご祝辞をいただきました。また、北海道小学校長会会長 末原恵蔵様、北海道中学校長会会長 河村克也様、札幌市PTA協議会会長 高原周作様、にご臨席を賜りました。

議事では、令和5年度の会務・事業活動報告、会計決算報告等が承認された後、令和6年度の活動の骨子案、事業計画案、会計予算案等の審議が行われ、提案通り承認されました。

役員改選では、後藤一樹氏が会長に任命されるとともに、10名の副会長、1名の顧問(前会長)、3名の監査の皆様が選出されました。

総会の最後には、5団体と個人6名に対し、北海道PTA連合会会長表彰が行われました。



令和6年度 北海道PTA連合会役員(敬称略)

役 職	氏 名	所	属
会 長	後 藤 一 樹	1 ブ ロ ッ ク	石 狩 管 内 P 連
副 会 長	太 田 実 保	1 ブ ロ ッ ク	石 狩 管 内 P 連
	枳 穀 恭 子	2 ブ ロ ッ ク	上 川 南 部 P 連
	駒 野 圭 史	3 ブ ロ ッ ク	函 館 市 P 連
	南 川 達 彦	4 ブ ロ ッ ク	胆 振 西 部 P 連
	清 水 武 志	5 ブ ロ ッ ク	釧 路 管 内 P 連
	廣 瀬 堅 一	会 長 指 名	小 樽 市 P 連
	出 村 賢 志	会 長 指 名	稚 内 市 連 合 P
	谷 淵 友 美	会 長 指 名	南 空 知 P 連
	田 中 亮 一		北 海 道 小 学 校 長 会
	寺 嶋 裕 介		北 海 道 中 学 校 長 会

令和6年度 道P連監査・教師代表委員・ブロック代表子育て委員(敬称略)

顧 問	菊 川 哲 平	2 ブ ロ ッ ク	上 川 南 部 P 連
	佐 藤 秀 彦	1 ブ ロ ッ ク	石 狩 管 内 P 連
監 査	松 鶴 愛	2 ブ ロ ッ ク	上 川 南 部 P 連
	鈴 木 健 二	3 ブ ロ ッ ク	函 館 市 P 連
教 師 代 表 委 員	山 際 昌 枝	組 織・連 携	小 樽 市
	木 村 貴 信	教 育・環 境	千 歳 市
	田 中 美 由 紀	子 育 て	江 別 市
ブ ロ ッ ク 代 表 子 育 て 委 員	瀬 尾 康 志	1 ブ ロ ッ ク	後 志 P 連
	笹 田 武 志	2 ブ ロ ッ ク	上 川 南 部 P 連
	辻 友 紀	3 ブ ロ ッ ク	檜 山 P 連
	中 野 善 隆	4 ブ ロ ッ ク	北 空 知 P 連
	増 田 一 真	5 ブ ロ ッ ク	釧 路 管 内 P 連

事 務 局

事 務 局 長	松 浦 宣 仁	札幌市中央区北1条西3丁目 STV時計台通ビル6階 TEL 011-251-6937 (北海道PTA連合会) TEL 011-221-7680 (北海道PTA安全互助会) FAX 011-210-0929 Eメール info@hokkaido-pta.jp
事 務 局 次 長	出 村 好 孝	
事 務 局 次 長	城 野 文 久	
事 務 局 員	椿 野 次 雄	
事 務 局 員	山 村 健 史	

令和6年度北海道PTA連合会 ～基本方針～

私たち大人は、夢を持ち未来を切り拓く子どもたちの幸福のために、「不易」と「流行」を見極め、何ができるか、何をしなければならないかを考え判断し、行動することが求められています。また、子どもたちの健やかな成長のためには、私たちが自ら学び、子どもたちの範となる行動を示していくことが大切です。

それらの点を踏まえ、次の3点を基本方針として推進します。

- 家庭教育及びPTA活動の資質向上に資する研究大会や研修活動などの充実をとoshi、豊かな心をもった子どもの育成に努めます。
- 本道の教育振興のために、地区P連と緊密な連携を図り、道P連事業の充実と教育課題の解決に努めます。
- 家庭・学校・地域、そして目的を同じくする他の団体及び行政との連携・協働を進め、子どもたちを取り巻く教育・生活環境の改善に努めます。

子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。グローバル化や急速な進化を続ける情報技術や自然環境の変化など、めまぐるしく変わる予測困難な時代を子どもたちは生きています。そのような中で、私たちは、高度化・複雑化する諸課題へ対応しながら、子どもたちが安心して生活できる環境、子どもたちを安心して育てられる環境づくりのために、責任をもって活動していくことが求められます。道P連は、様々な課題があっても、PTAとしての活動を創意工夫しながら進めていきます。

令和6年度の課題と活動の基本として以下の点が挙げられます。

- ① 子どもたちの健全な成長を図っていく上での課題は多くあります。北海道ブロック研究大会はじめ、各地区P連や市町村P連、単Pの各種研究大会や研修会をとoshして、諸課題についての実態把握を行うとともに解決に向けた討議を行っていくことが大切です。「地域とともにある学校づくり」、「子どもたちの永遠の応援団としての家庭教育」、「子どもたちにとって楽しい学校生活」、「笑顔で子どもたちと接するための家庭・学校・地域の連携」、「急速な進化を続ける情報化社会の中で子どもたちを守る活動」、「自分たちが幸せになるためのまちづくり」などについて、PTAとして今、求められていることは何か、その中で何ができるか、何をしなければならないか。私たちが将来の子どもたちへ活動のバトンを繋げていくために、どうするべきかを追求していきます。
各種研究会・研修会をとoshして、会員一人一人が研鑽を積み、互いに学び合い高め合い、そのことを子どもたちの健全な成長に結びつけていくことが大切です。
- ② 地区P連をとoshして、市町村P連・単Pとの情報の共有化を図り、道P連事業の充実と円滑な運営を進めながら、地区P連・市町村P連・単Pの活動の活性化を図っていくことが大切です。そのためには、理事会や地区事務局長会、委員会等における各地区P連の情報交流や「会報」「委員会だより」「道P連HP」「ブロック連絡会での道P連や委員会からの説明、地区P連の活動交流」など、情報の共有化に向けた取組を充実させていくことが大切です。
- ③ 子どもたちの健全な育成を図っていくためには、子どもたちを取り巻く様々な課題解決や教育・生活環境の整備に結びつくよう、家庭・学校・地域・行政・教育関係諸団体との連携・協働をさらに進めていくことが大切です。

R6年度の各委員会の取組

【組織・連携委員会】

1 研究テーマ 「共に学び、行動し、連携するPTA活動や組織の在り方」

2 研究の視点

研究テーマを追究するためには、委員会がこれまでの成果を踏まえ、各PTA活動の推進に役立つ有効な情報を主体的に発信することが重要であることから、次の2つの視点に基づき活動を進めます。

- 持続可能なPTA活動・組織
- 学校と家庭・地域の連携・協働体制

3 研究の内容

- ①持続可能なPTA活動・組織について協議を継続します。
- ②学校と家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制の構築を図ります。
- ③各地区の取組や情報の全道PTAへの積極的な発信・共有を行います。
- ④令和8年度函館大会での提言について協議を継続し、サポートしていきます。

【教育・環境委員会】

1 研究テーマ 子どもとともに大人も学び合い 心豊かな共育を目指して

～子どものために、大人がどう行動するか～

2 研究の視点

今日的な教育課題やPTA活動に関わる問題点等のうち、子どもの教育、生活・教育環境等に関することをテーマとして研究・協議し、全道の研究や実践の指針を提供することをねらいとしています。

子どもの健やかな成長のためには、大人の立場から子どもを取り巻く環境を見取り、その課題を把握し、大人が手をつないで解決に向けた具体的な取組の推進に努力していくことが重要であり、下記の研究内容について研究・協議を進めていきます。

3 研究の内容

- ①研究内容1「子どもの教育活動」に関わって取り組みます。
 - ・令和6年度の提言発表に向けて、研究の具体を絞り込む。 ・令和6年度の提言発表に向けた事例収集、調査分析
- ②研究内容2「大人の環境整備」に関わって取り組みます。
 - ・令和9年度の提言に向けた重点・具体の決定 ・令和9年度の提言に向けた事例収集等
- ③各地区の実践交流や研究大会の報告を行い、研究集録の作成を進めます。
 - ・令和6年度の提言発表を視野に入れた各地区PTA活動における実践交流
 - ・各地区PTAの研究・研修活動の充実に資する交流

【子育て委員会】

1 研究テーマ 全道統一スローガン 「今 こころ輝いて 親として 人として」

今年度の研究テーマ 「豊かな心をもった子どもを育てる親のあり方」

2 研究の視点

今日、グローバル化や情報化、少子高齢化など、社会環境はめまぐるしく変化している。子どもたちに「豊かな心」をもち「生きる力」を身につけさせるには、親自身も学び続け、生き方を子どもたちに示していくことが大切である。親は子どもにとって一番身近で深く関わる存在であり、基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、思いやりの心、善悪の判断など、「生きる力」の基礎的な資質や能力は家庭教育の中で培われる。親が家庭内での協力関係を築くとともに、家庭・地域・学校が三位一体となって連携し、新しい時代の子育てに努めることが重要です。

そのため、本委員会は子どもたちを取り巻く環境を丁寧に見取り、課題を把握し、共に学び合いながら解決に向けた取組を推進し、道P連のHPを活用し、地区並びに単位PTAへ情報を継続的に発信・提供する発信源として活動の充実に努める。HP上にブロック各地での活動の様子等を調査しタイムリーに掲載し、情報の共有化や話題を広げる活動実践等の交流の場とします。

3 研究の内容

- ①子育て委員会の活性化と組織の充実のあり方について取り組みます。
- ②「生きる力」を育てる家庭教育のあり方について取り組みます。
- ③子育て委員会発の話題提供源としての広報活動について取り組みます。
- ④令和7年度提言に向けた取組の準備を推進します。

令和6年度 地区PTA研究大会・子育て研修会実施計画

令和6年6月8日現在

プロ ック	No.	地 区 名	地 区 研 究 大 会		地 区 子 育 て 研 修 会		開 催 形 態
			開 催 日	開 催 地	開 催 日	開 催 地	
1	1	石 狩	10月19日(土)・ 20日(日)	千歳市 千歳市民文化センター他	10月19日(土)・ 20日(日)	千歳市 千歳市民文化センター他	同同
	2	小 樽 市	10月23日(水)	小樽マリンホール	9月7日(土)	小樽いなきたコミセン	別
	3	後 志	9月8日(日)	黒松内町	9月8日(日)	黒松内町	同同
2	4	上 川 北 部	8月24日(土)	剣淵町	8月24日(土)	剣淵町	同同
	5	旭 川 市	11月10日(日)	旭川地場産センター 神楽公民館	9月8日(日)	神楽公民館	別
	6	上 川 南 部	未定	東川町(東川中学校)	8月17日(土)	東川町(東川中学校)	別
	7	稚 内 市	6月21日(金)	稚内市総合文化センター	6月21日(金)	稚内市総合文化センター	同同
	8	宗 谷	11月17日(日)	猿払村	11月17日(日)	猿払村	同同
	9	留 萌	9月21日(土)	遠別町 (オンライン開催予定)	9月21日(土)	遠別町 (オンライン開催予定)	同同
3	10	函 館 市	11月9日(土)	函館市(函館大学)	10月3日(木)	函館市(渡島合同庁舎)	別
	11	渡 島	12月7日(土)	北斗市 (北斗市かなで〜る)	12月7日(土)	北斗市 (北斗市かなで〜る)	同同
	12	檜 山	隔年開催	R6 町村 P 連で実施	隔年開催	R6 町村 P 連で実施	
4	13	南 空 知	11月2日(土)	長沼町	11月2日(土)	長沼町	同別
	14	北 空 知	11月9日(土)	滝川市(開西中学校)	11月9日(土)	滝川市(開西中学校)	同別
	15	胆 振 東 部	11月22日(金)	むかわ町(四季の館)	9月~10月	白老町(未定)	別
	16	胆 振 西 部	8月24日(土)	伊達市 (だて歴史の社カルチャーセンター)	8月24日(土)	伊達市 (だて歴史の社カルチャーセンター)	同同
	17	日 高	11月10日(日)	新ひだか町 (新ひだか町公民館)	11月10日(日)	新ひだか町 (新ひだか町公民館)	同同
5	18	オホーツク東部	9月28日(土)	斜里町立斜里中学校	11月	網走市内	別
	19	オホーツク中部	10月5日(土)	北見芸術文化ホール	11月23日(土)	津別中央公民館	別
	20	オホーツク西部	9月28日(土)	興部町 (興部町総合センター)	9月28日(土)	興部町 (興部町総合センター)	同同
	21	帯 広 市	11月17日(日)	とかちプラザ	11月17日(日)	とかちプラザ	同同
	22	十 勝	7月15日(月)	幕別町	7月15日(月)	幕別町	同同
	23	釧 路 市	10月26日(土)	釧路市立鳥取中学校	9月11日(水)	コアかがやき	別
	24	釧 路	11月10日(日)	鶴居村(総合センター)	11月10日(日)	鶴居村(鶴居小学校)	同別
	25	根 室	9月1日(日)	標津町生涯学習センター 「あすばる」	9月1日(日)	標津町生涯学習センター 「あすばる」	同別

※地区研究大会と子育て研修会形態

* 同日・同内容 (同同) * 同日・別内容 (同別)
* 別日・別内容 (別) * 同日・内容検討 (同検)

令和5年度 各地区研究大会の紹介

(敬称略)

「4年ぶりの参集での研究大会開催」

後志地区 PTA 連合会

コロナ禍において参集での開催を中止していた後志 PTA 連合会研究大会・子育て研修会」を9月3日日曜日、古平町複合施設かなえーにて4年ぶりに一同集っての形式で行いました。過去3年間、参集で行うことができなかったときのノウハウも生かし、一人でも多くの方に参加していただこうとオンライン配信と合わせたハイブリッド型の開催となりました。おかげさまで参加者は約270名となりました。運営は、古平町 PTA 連合会が中心となり、過去の大会運営を精選し、打合せの回数を減らすなど、できるだけスリム化を図り実施することができました。

講演会では、なみうち助産院院長の浪内 淳子氏と第5回 WBC 日本代表監督 栗山 英樹氏2名を講師に招き、お話をいただきました。浪内氏には「親になるということ～助産師から見る子どもの成長と親子関係～」という演題で、子育て真っ最中の PTA 会員にとってとても興味のある内容を、スライドなどを交えて丁寧に伝えてくださいました。栗山氏は「個の『力』を引き出す関わり方～侍ジャパンの指揮を通して～」という演題で、一人一人の選手との関わりや WBC でのエピソードなど、興味深い内容を和やかな雰囲気でご講演していただきました。両氏どちらの講演にも、参加者は聞き入り、最後には会場全体の大きな拍手で講演を盛大に終えることができました。

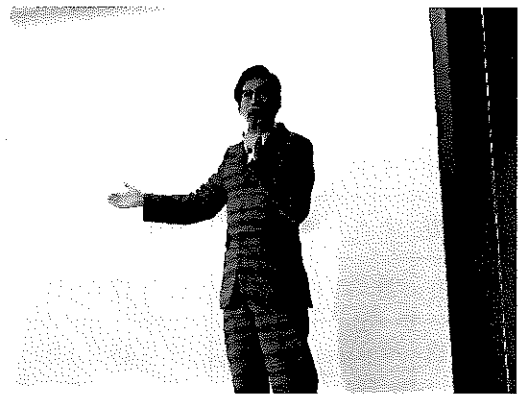


(文責 後志地区 PTA 連合会事務局 高橋 美紀)

「PTA 活動のこれから」

オホーツク東部地区 PTA 連合会

令和5年11月18日(土)、小清水町の愛ホールにて3年ぶりに参集方式で開催することができました。オホーツク教育局社会教育主事による学習会「ネットトラブルから子どもを守るために」を行った後、講演会を行いました。講師に、北海道を拠点に多方面で活躍中のタレント鈴木貴之氏を招き、「北海道のこれから～人材育成と子育て～」という演題でお話をいただきました。生い立ちから学生時代のこと、劇団生活や芸能活動のこと、会社立ち上げの苦労や現在の暮らしについてなど、自身の経験や活動から、北海道の可能性や人材育成及び家庭教育のあり方など、ユーモアを交えながら軽快な語り口でたくさんのお話をいただきました。約200名の参加者は鈴木さんの話に関心入り、さまざまな学びを得ていたようです。講演後の質問タイムではたくさん質問が出され、その一つ一つに丁寧に答えていただきました。講演のアンケートでは、「とても心に刺さる内容で、あっという間の1時間だった。」「学習会も講演会も講師の話が聞きやすく、飽きることなく参加できた。」「鈴木さんの生き方に共感した。」「鈴木さんの話を直に聴くことができ感激した。」などの感想が寄せられ、大変有意義な研究大会であったと自負しています。裏話になりますが、参加者の中に、かつて鈴木さんと一緒に劇団員として活動していた方がいて、楽屋で30年ぶりに再会を果たすなど、感動的な場面もありました。



講演の中で「不可能を可能にするには、多角的な視点・発想が必要である」と鈴木さんが話されていました。コロナが収束した現在、これからの PTA 活動は転換期を迎えていると感じます。鈴木さんが言うように、多角的な視点や発想で、新しい PTA 活動を展開していくことが必要であると実感した研究大会でもありました。

(文責 前オホーツク東部地区 PTA 連合会事務局 遠藤泰代)

第71回日本PTA北海道ブロック研究大会 石狩管内・千歳大会

1	開催期日	令和6年10月19日(土)～20日(日)																																								
2	会場	【第1日目 分科会】 北ガス文化ホール・ANAクラウンプラザホテル千歳・千歳市立千歳中学校 ・情報交換会(ANAクラウンプラザホテル千歳) 【第2日目 全体会】 北ガス文化ホール 大ホール																																								
3	主催	日本PTA北海道ブロック協議会(北海道PTA連合会・札幌市PTA協議会)																																								
4	主管	石狩管内PTA連合会																																								
5	後援	公益社団法人日本PTA全国協議会 文部科学省 北海道 千歳市 恵庭市 北広島市 江別市 石狩市 当別町 新篠津村 北海道教育委員会 千歳市教育委員会 恵庭市教育委員会 北広島市教育委員会 江別市教育委員会 石狩市教育委員会 当別町教育委員会 新篠津村教育委員会 北海道小学校長会 北海道中学校長会 石狩管内小・中学校長会 千歳市校長会 恵庭市校長会 北広島市校長会 江別市校長会 石狩市校長会 当別町校長会 新篠津村校長会 北海道公立学校教頭会 石狩管内小・中学校教頭会 千歳市教頭会 恵庭市教頭会 北広島市教頭会 江別市教頭会 石狩市教頭会 当別町教頭会 新篠津村教頭会 公益社団法人日本教育会																																								
6	参加者	北海道内PTA会員並びに教育関係者																																								
7	参加費	5,000円(情報交換会は6,000円)																																								
8	大会スローガン	【大切にしたい子育ての神髄～子育ての不易と流行を考える】																																								
9	大会主題	「地域や家庭で共に学び、支え合う社会の実現をめざして」																																								
10	大会日程	<p>【第1日目 10月19日(土)】</p> <p>11:50 12:00 13:30 14:00 17:30 18:00 20:00</p> <table border="1"> <tr> <td>運営者</td> <td>運営打ち合わせ</td> <td>受付</td> <td>分科会</td> <td>移動</td> <td>情報交換会</td> </tr> <tr> <td>受付</td> <td>会議(分科会毎)</td> <td></td> <td>(北ガス文化H・千歳中・ANAホテル千歳)</td> <td></td> <td>(ANAクラウンプラザホテル千歳)</td> </tr> </table> <p>【第2日目 10月20日(日)】</p> <p>9:00 9:30 9:45 10:30 12:00 12:15</p> <table border="1"> <tr> <td>受付</td> <td>アトラクション (未定)</td> <td>全体会</td> <td>記念講演</td> <td>閉会行事</td> </tr> </table>					運営者	運営打ち合わせ	受付	分科会	移動	情報交換会	受付	会議(分科会毎)		(北ガス文化H・千歳中・ANAホテル千歳)		(ANAクラウンプラザホテル千歳)	受付	アトラクション (未定)	全体会	記念講演	閉会行事																			
運営者	運営打ち合わせ	受付	分科会	移動	情報交換会																																					
受付	会議(分科会毎)		(北ガス文化H・千歳中・ANAホテル千歳)		(ANAクラウンプラザホテル千歳)																																					
受付	アトラクション (未定)	全体会	記念講演	閉会行事																																						
11	記念講演	講師	植松 努 氏(株式会社植松電機 代表取締役)																																							
		演題	『思うは招く、夢があればなんでもできる』																																							
12	分科会テーマ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>会場</th> <th>領域</th> <th>分科会テーマ</th> <th>担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">北ガス文化ホール</td> <td>第1分科会</td> <td>組織運営</td> <td>多様化する会員を活かし協力し合えるPTA活動</td> <td>札幌市南区PTA連合会</td> </tr> <tr> <td>第2分科会</td> <td>家庭教育</td> <td>親子の絆を深めるふれあい事業</td> <td>長沼町立長沼小学校PTA</td> </tr> <tr> <td>第3分科会</td> <td>学校支援</td> <td>保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動</td> <td>北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程PTA</td> </tr> <tr> <td>千歳中学校体育館</td> <td>第4分科会</td> <td>地域連携</td> <td>子育てを支える学校と地域のつながり</td> <td>函館市立千代田小学校PTA</td> </tr> <tr> <td>ANAホテル</td> <td>第5分科会</td> <td>食育・情報</td> <td>生きる力を育む食育とICT活用力</td> <td>札幌市手稲区PTA連合会</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">リモート開催 配信会場 ANAホテル</td> <td>特別第1</td> <td>中学生討論</td> <td>SNSとの上手な付き合い方を考える</td> <td>Zoom分科会 北広島市PTA連合会</td> </tr> <tr> <td>特別第2</td> <td>地域課題</td> <td>地域の力を活かした教育活動の充実</td> <td>Zoom分科会 当別町PTA連合会 新篠津村PTA連合会</td> </tr> </tbody> </table>					会場	領域	分科会テーマ	担当	北ガス文化ホール	第1分科会	組織運営	多様化する会員を活かし協力し合えるPTA活動	札幌市南区PTA連合会	第2分科会	家庭教育	親子の絆を深めるふれあい事業	長沼町立長沼小学校PTA	第3分科会	学校支援	保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動	北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程PTA	千歳中学校体育館	第4分科会	地域連携	子育てを支える学校と地域のつながり	函館市立千代田小学校PTA	ANAホテル	第5分科会	食育・情報	生きる力を育む食育とICT活用力	札幌市手稲区PTA連合会	リモート開催 配信会場 ANAホテル	特別第1	中学生討論	SNSとの上手な付き合い方を考える	Zoom分科会 北広島市PTA連合会	特別第2	地域課題	地域の力を活かした教育活動の充実	Zoom分科会 当別町PTA連合会 新篠津村PTA連合会
会場	領域	分科会テーマ	担当																																							
北ガス文化ホール	第1分科会	組織運営	多様化する会員を活かし協力し合えるPTA活動	札幌市南区PTA連合会																																						
	第2分科会	家庭教育	親子の絆を深めるふれあい事業	長沼町立長沼小学校PTA																																						
	第3分科会	学校支援	保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動	北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程PTA																																						
千歳中学校体育館	第4分科会	地域連携	子育てを支える学校と地域のつながり	函館市立千代田小学校PTA																																						
ANAホテル	第5分科会	食育・情報	生きる力を育む食育とICT活用力	札幌市手稲区PTA連合会																																						
リモート開催 配信会場 ANAホテル	特別第1	中学生討論	SNSとの上手な付き合い方を考える	Zoom分科会 北広島市PTA連合会																																						
	特別第2	地域課題	地域の力を活かした教育活動の充実	Zoom分科会 当別町PTA連合会 新篠津村PTA連合会																																						

北海道PTA安全互助会制度の補償について

■こんな時、見舞金が出ます。事故が発生したら、速やかに手続きをしましょう。

- <園児・児童・生徒（学校管理下外）傷害補償> 学校の管理下外でのケガおよび死亡の見舞金
 - ・登下校中やご自宅でのケガ
 - ・スポーツ（少年団活動を含む）でのケガ
 - ・自転車・ドライブでのケガ
 - ・授業のない日の部活動中のケガ
- <PTA（活動中）傷害補償> PTA主催行事において起きたケガおよび死亡の見舞金
 - ・スポーツ行事や学年・学級レクでのケガ
 - ・研修活動でのケガ
- ※園児・児童・生徒の場合は学校管理下外に限ります
- <賠償責任補償（PTA）> PTA活動中の賠償責任を補償します
 - ・PTA主催のお祭りで、PTA役員の誘導ミスにより来場者がケガをした
- <賠償責任補償（PTA+子ども24時間）> 園児・児童・生徒の賠償責任を24時間補償します
 - ・児童が自転車で通行人に衝突し、通行人がケガをした

■未加入校はぜひご加入をお願いします。通年を通して、ご加入いただけます。

子どもたちの学校を離れての活動やPTA行事に安心して参加できるように、補償内容等をご理解のうえ、ぜひご加入いただくようお願いいたします。

<会費>

【園児・児童・生徒（学校管理下外）傷害補償】	被保険者1人につき	400円	（1年間）
【PTA（活動中）傷害補償】	1世帯につき	195円	（1年間）
【賠償責任補償（PTA）】	被保険者1人につき	18円	（1年間）
【賠償責任補償（PTA+子ども24時間）】	被保険者1人につき	400円	（1年間）

新たに加入を希望するPTAは、PTA安全互助会までご連絡ください（☎011-221-7680）

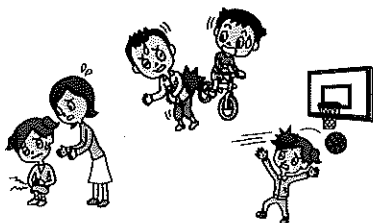
北海道PTA連合会
令和6年度

小・中学生総合補償制度

（団体総合生活保険）

子どもたちの笑顔あふれる活発な日常をお守りする「もしも」の際の「備え」です！

- ◆各学校でご加入いただく北海道PTA安全互助会制度の上乗せ補償として、各ご家庭で任意加入いただける制度をご用意しています。
- ◆学校内外を問わず、様々な危険から24時間、お子さまをお守りします。
- ◆本制度は年1度の募集となり、今年度募集は5月末をもって終了しております。あらかじめご了承ください。
- ◆詳細な補償内容や申込手続き方法は、例年4月に各学校で配布されるパンフレットをご確認ください。北海道PTA連合会のホームページ（https://www.hokkaido-pta.jp/mutual_aid/compensation）からもご確認が可能です。



【引受保険会社】



東京海上日動火災保険株式会社

【お問い合わせ先】札幌支店金融公務課 ☎011-271-7285

札幌市中央区大通西3-7 北洋大通センター17階

24TC-000999 令和6年5月作成